

# 大好き いばらき



迫力ある霞ヶ浦あゆみ太鼓は参加者の意欲を盛り上げるものでした。  
(ネットワーカー活動推進大会 県南・県西ブロック)

## 目次

### 特集 「ご近所の底力」事業

ご近所の底力井戸端会議	2
地域活動団体紹介	2~3
・堺山学区住みよいまちをつくる会	
・NPO法人結城まちづくり研究会	
・納場地区コミュニティ	
『地域力』向上について考えるシンポジウム	3
ご近所の底力大賞顕彰大会	4~5
●ネットワーカー活動推進大会	6
・県北・県央・鹿行ブロック	
・県南・県西ブロック	
●エコライフフォーラム	6
●NPOとの協働	7
・NPOフォーラム	
・NPO運営セミナー	
・自治体職員のためのNPO研修会	
●大好き いばらき 県民運動活動紹介	7
・霞ヶ浦環境科学センター冬の祭典	
・霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦	
・ネットワーカー委嘱状交付式	
●ご存知ですか？交流サルーンいばらき	8
●大好き いばらき ふれあいまつりのお知らせ	8
●INFORMATION	8

### 大好き いばらき 県民運動

各地域で行われている青少年育成・福祉・生活環境など、さまざまな分野での活動を、県民や団体、企業、行政が手をつないで支えあい、やさしさとふれあいのある茨城を創っていく運動、それが「大好き いばらき 県民運動」です。

## 特集

## 「ご近所の底力」事業



かつて、私たちが住む地域社会では、住民同士が支えあい、子どもたちをあたたかく見守り育て、お年寄りを大切にし、世代を超えた交流が行われていました。しかし、ご近所付き合いが薄れた今、お年寄りの孤立や身近な場所での犯罪など数多くの問題が発生しています。

大好き いばらき 県民会議では、地域コミュニティの活性化を図るために、平成16年度から3年間「ご近所の底力再生事業」により、地域の抱える課題に自主的に取り組み、地域活動を推進する団体を支援してきました。この助成事業には1,000を超える団体（延べ42万人）から応募があり、地域活動への気運が高まりつつあります。平成19年度からは、これらの活動をさらに活発化させるため、「ご近所の底力活性化推進事業」を展開しております。

今回は特集として、2~5ページにわたり、「ご近所の底力事業」の取り組みの数々と、現在活動を展開中の団体を紹介いたします。



## ご近所の底力井戸端会議



地域の課題は地域で解決する、  
自分達の地域は自分達で良くする

大好き いばらき 県民会議と大好き いばらき 生活会議連絡会では、地域コミュニティの活性化と、地域力向上による住民主体の地域づくりの推進のため、県内3ヶ所で「ご近所の底力井戸端会議」を開催しました。

今回は、開催場所を活動の実践現場としました。内容も従来の実践報告に加え、現地視察を含めたものとし、他の地域の方や団体が気軽に交流できる場としました。参加者からは「まだまだ活用できていない地域の資源がある」「大いに参考になった」等の感想が寄せられました。



日 時	開催場所	担当団体	テマ
2月 9日(土)	日立市塙山交流センター	塙山学区住みよいまちをつくる会	365日型活動のまちづくり
2月23日(土)	結城市情報センター 他	NPO法人 結城まちづくり研究会	地域資源の活用
3月 1日(土)	小美玉市役所 他	納場地区コミュニティ	人と花のハーモニー

## 地域活動紹介

## 365日型のまちづくり

## 塙山学区住みよいまちをつくる会(日立市)

塙山学区は現在、約2,880世帯、人口約7,387人。ここで昭和55年から活動するのが塙山学区住みよいまちをつくる会。イベント型の活動から、平成になり365日日常活動型へ転換を図り、以来、ふれあい事業や青少年育成、地域福祉、環境、防犯、防災などをテーマにした事業を行い、多彩なまちづくり活動を展開しています。



活動のひとつの地域福祉活動は、ふれあいサロンの運営や、配食サービスなど高齢者の支援活動、「はなやま安心カード」を活用した高齢者や障害者の見守り活動などです。また、市報のボランティア配送をはじめ、ジャンボタクシーによる移送サービス、青色パトロールカーでの防犯活動も実施しています。活動には地域のPTAや幼稚園の保護者など若い世代も巻き込み、様々な人材や資源を活用し、工夫を凝らした活動を推進しています。

会長の西村さんは「塙山学区の活動は助けてほしいという人のための活動です。たった一人の人のために、寄り添いながら…をモットーにニーズ・課題に迅速に対応する、そんな活動を常にこころがけています」と話していました。



木曜サロンゲーム大会の様子

「ヤングママ子育て楽集会」  
おもちゃづくり

## 地域活動紹介

## 地域資源の活用

NPO法人 結城まちづくり研究会(結城市)

結城に生まれ育った子どもたちが誇れる故郷づくりをする、住民が町を見直し多くの人に結城市へ来ていただく、このような想いから設立されたのが「結城まちづくり研究会」です。結城市は紬や桐製品などでは知られていますが、さらに身近な地域資源を活用し、まちの活性化を図るため、市の木である“桑”を植栽管理して、桑を原料としたお茶やジャムなどの製品をつくり、販売を行っています。また、訪れた人々への観光ガイドにかかわったり、竹林などの環境保全にも努めています。

一方、学術・文化教育振興の一環として「結城市民劇をつくる会」を立ち上げ、



市民の手で制作した市民劇「結城合戦物語」



竹林の間伐の様子

400年の歴史の中に埋もれていた事件を題材に、「結城合戦物語」を市民自身が脚本・演出・音楽・道具・俳優として制作に関わり、平成19年12月に公演となりました。今後も若い世代を巻き込み、公演を継続していく予定です。

市民と行政が一体となり、歴史的遺産を活用し、「協働のまちづくり」達成に動いている結城市が見えました。

## 地域活動紹介

## 花のハーモニー

納場地区コミュニティ(小美玉市)

納場地区コミュニティは、納場小学校区の全世帯(約2,000世帯)が交流を深め、豊かで楽しい地域づくりを目的として創設されました。当初から行われている「花づくり(フラワーロード)運動」は、活動を代表するもので、毎年6月頃には各地区的住民約100名が参加して、マリーゴールドなどの苗を植栽するなど、地域住民が一体となって行っています。また4.5キロにわたる巴川ウォーキングロードの除草作業も行っており、地域住民の健康増進にも一役かっています。

さらに世代間の交流事業として開催される「陽だまり読書と白鳥を観る集い」



「陽だまり読書と白鳥を観る集い」ではもちろん、花づくりも行いました



苗を植栽する様子

は、自然の尊さや環境保全を考える場となっています。今年は地元の「母の会」の協力を得て子どもたちへの読み聞かせを行い、地区内の池花池と遠州池に飛来する白鳥や、池に生息する生物の観察も行いました。

また、多くの住民の参加のもと開催する「ふれあいまつり」や全住民を対象にした「研修旅行」、「秋季球技大会」を開催するほか、地区内の行事や地区住民の話題を掲載する広報誌も年に3回発行しており、コミュニティ活動の活性化に向けた取り組みが続いている。

## 第25回地域づくり団体全国研修交流会茨城大会

## 『地域力』向上について考えるシンポジウム

2月1日 / 県民文化センター小ホール

第25回地域づくり団体全国研修交流会茨城大会において、大好き いばらき 県民会議は、全国各地で地域づくりに取り組む方々約150名参加のもと、地域活動のもつ重要性や課題について意見を交わす「『地域力』向上について考えるシンポジウム」を開催しました。

大会では、常磐大学コミュニティ振興学部教授の池田幸也氏をコーディネーターに迎え、平成19年度ご近所の底力助成団体でもある小坂団地朗人クラブ(牛久市)の「ながら活動隊などの社会奉仕活動について」、NPO法人結城まちづくり研究会(結城市)の「市民劇制作の活動について」の事例発表をもとにした質疑応答、意見交換会が行われました。

会場からは、「資金のやりくりは…」「若い世代をまきこむには…」「歴史や伝統を伝えるには…」など、活動で問題となる課題が出されました。大会の最後に池田先生からは、「まちをつくることは人ととの出会いをつくり、歴史をつくること。できないことを言うのはやめて、自分ができる事をやることが地域づくりにつながっていく」との講評がありました。



小坂団地朗人クラブの発表



発表する結城まちづくり研究会

|平成19年度|

# ご近所の底力大賞顕彰大会

2月21日(木)水戸市笠原町の茨城県市町村会館講堂において「ご近所の底力大賞顕彰大会」を開催しました。5年以上の地域コミュニティ活動実績を有する29団体から応募があり、書類による一次審査で選ばれた10団体(次頁参照)にプレゼンテーションをして頂き、二次審査を行いました。二次審査は専門審査員のほか、公募により選ばれた一般審査員23名を含む60名の審査員による公開審査で、約300名の来場者が見守るなか「ご近所の底力大賞」を決定しました。

さらに、地域活動団体同士のネットワークを深めるため「ご近所の底力推奨団体」として登録頂いた131団体への推奨団体プレート交付式も行い、代表して「茨城町読み聞かせボランティア」の成島マリさんにプレートが授与されました。



ご近所の底力推奨団体へ交付したプレート

## 事例発表

大会は茨城県生活環境部の馬場清康部長の「ここにちは！」という元気のよい開会のあいさつで幕を開けました。プレゼンテーションを行った10団体はそれぞれが工夫を凝らし、時にはユーモアを交えながら熱のこもった発表を行いました。



事例発表の様子

## 審査方法

第1回投票の審査項目は「成果・実績」「発展・期待」「熱意」の3項目。投票は、団体の特色と思われる項目について、審査員に「うちわ」をあげていただき、「うちわ」の枚数を日本野鳥の会茨城支部の多田副支部長にその場でカウントして頂く方法で行いました。

第2回投票ではステージ上に騒音測定器をセットし、会場のみなさんも一緒にになって素晴らしいと思われる団体に拍手し、その音量の数値を点数とする全員参加型の審査を行いました。



大好き いばらき 県民会議の「うちわ」をあげる審査員とそれを数える多田さん

## ご近所の底力大賞・ご近所の底力奨励賞

2回の投票を経て「実績・将来性・熱意など総合的に最も優れた地域活動団体」へ贈られる「ご近所の底力大賞」を決定しました。当初は1団体へ贈られる予定でしたが、大接戦の末、常総市の「坂手町地域親実行委員会」と石岡市の「東の辻二部町内会」の2団体がその栄誉に輝きました。

また、プレゼンテーションを行ったすべての団体へその特長に応じた「地域づくり奨励賞(地域づくりに向け優れた実績がある)」、「モデル活動奨励賞(今後、活動の発展が期待される)」、「がんばる地域奨励賞(地域が一体となり熱意をもって地域活動に取り組んでいる)」が贈られました。



↑坂手町地域親実行委員会  
「とてもうれしいです。これからますます力を入れてがんばります」



↑東の辻二部町内会  
「これからが正念場。ホタルが飛び回るまでがんばります」



大会後に、審査委員長を務めた常磐大学の池田幸也教授(写真)は「この顕彰大会は素晴らしい活動に注目し互いに称えあうという意義のあるもの。このような活動は肩肘張らず気軽に見える半面、仲間づくりが力になります。たくさんの方々に多くの仲間を作り、このような活動の裾野がもっと広がれば素晴らしいですね」とお話しされました。



ご近所の底力大賞・奨励賞受賞団体を紹介します。

## ご近所の底力大賞

## 地域づくり奨励賞



## 坂手町地域親実行委員会

常総市

「地域の子どもたちを、地域の大人が育てよう」を合い言葉に人と人とのつながりを大切にした地域親活動を行っている。地域の大人が得意とすることで講師を務め、子どもたちに教える講習会を開催したり「あいさつ・声かけ運動」等を実施している。5年という長期間の取り組みを経て、子どもを巻き込んで連携がとれた活動を展開している。

## 東の辻二部町内会

石岡市

「霞ヶ浦の浄化は東の辻水源から」を合い言葉に、ゴミの不法投棄や生活雑排水の流入で悪臭を放つ町内の「調整池(東の辻水源)」を、「地域の憩いの場」に再生させる「東の辻自然環境復元活動」を展開してきた。長期の活動を経て、コイなどが泳ぐ「水源いこいの広場」となり、昨年は「水源いこいの広場」初の豚汁会が実施された。



## 地域づくり奨励賞

## 小坂団地朗人クラブ

牛久市

「健康いっぱい明るく楽しい町づくり『現代の鎮守の森』探し」を目的に、「社会奉仕活動」、「健康維持増進活動」、「教養向上活動」、「地域交流活動」を実施している。社会奉仕活動では、散歩しながらゴミを拾ったり、児童の登下校を見守ったりする「ながら活動」を実施している。また高齢者宅などの庭木剪定なども行い、多くの世代に喜ばれている。

特定非営利活動法人  
N&N Corporation

神栖市

この法人は、地域の国際化に対応し、市民と在住外国人が平和で安全・安心に生活できる地域づくりを目指して活動している。主に通訳・翻訳活動、世界の文化と歴史などの情報提供、外国人のための生活相談や地域の外国語普及活動、国際結婚家庭の子どもたちを含めたひきこもりに対応する相談業務などを行っている。

## 茨城町EMクラブ

茨城町

環境の汚染、生命環境の安全・安心の向上を図るために、河川湖沼の自然や水質の改善を目標に、EM(有用微生物群)等を活用し環境改善活動を行っている。また、自然にやさしい環境づくりのため、農薬や化学肥料を使わない自然農法や食用廃油によるEM石鹼作りの普及活動も行っている。

## モデル活動奨励賞

NPO法人未来ネットワーク  
ひたちなか・ま

ひたちなか市

公設の「ひたちなか・ま ふれ愛ひろば」の運営を委託され、様々な分野で活動中のボランティアグループやNPO団体との交流の場や、市民のコミュニケーションの場を提供している。また、若いうちから地域課題を考え、「ボランタリーな心」を養うことを目的に、ヤングボランティア体験教室などを開催している。

こころふれあう  
羽鳥の会

小美玉市

新旧住民が一体となって活動できる人と人との「つながり」を重視した活動を展開している。「ふれあい広場」を開催し、各種催し物などイベント行事は多世代が交流できる場となっている。また「ふるさとウォッキング」を中心に地域を知る活動を展開し、地域から頼られる組織となっている。

## 水戸女性フォーラム

水戸市

水戸市開催の女性大学の卒業生が結成した会で、「人にやさしいまち、まちにやさしい人へ」をスローガンに、実際にまちを歩き、気づいた事を提言集にまとめ、行政へ働きかけを行っている。銀杏坂の公共トイレはその提言が生かされたもので、市民ギャラリー(1Fトイレ、2・3Fギャラリー)としてオープンしている。

## がんばる地域奨励賞

## 水府町第二区町内会

水戸市

那珂川の水害の経験から、ご近所のつながりの大切さを痛感し、町内コミュニティに力を入れている。町内清掃などの環境美化活動、防災防犯活動、夏祭り神輿や太鼓の伝承など青少年の健全育成のための活動や、ママさんソフトバレーヤシルバーリハビリ体操など健康づくりの普及活動を行い、多世代で参加できる活動を展開している。

## 谷河原町会

常陸太田市

「明るい住みよい町づくり」をスローガンに、安全・安心なまちづくり活動を実施し、道路面の枝払い・竹篠藪刈払い等を実施している。また、思いやりのあるまちづくり活動として、環境保全や健康相談等の支援を実施。更にエコライフ運動も実施し、レジ袋削減に取り組んでいる。

# ネットワーカー活動紹介

県内各地で地域活動を実践し、県民運動の情報発信や普及などの活動をしている「大好き いばらき ネットワーカー」（県民運動地域推進員）が、この度、ブロック毎に集い、県民運動の発展に向け、各種地域活動団体との交流を深めるために、ネットワーカー活動推進大会を開催しました。

## 県北・県央・鹿行ブロック

12月18日(土)

常陸大宮市緒川総合センター

県北・県央・鹿行ブロックの活動推進大会は、『あふれる自然と共生する地域づくり～手を繋ぎ、響きあう人と人～』をテーマに開催されました。

はじめに、平成18年度磯節全国大会優勝者の會澤あゆみさんと(財)日本民謡協会常陸太田支部 民謡楽鵬会の郷土芸能を披露。大会では、地域活動の事例発表と、発表団体との意見交換会、また県外から移住してきた人が“茨城に来て驚いたこと、好きなところ”をお国言葉で話してもらう「大好き いばらき 方言スピーチ」も行い、会場を盛り上げました。大会の締めくくりは参加者250名全員で「故郷」を合唱し、地域活動推進者の交流の場となりました。

大会を終えて実行委員長の木村氏は「大好き いばらき 県民会議の活動について理解が深まり、この大会を契機にネットワーカーの皆さんのが協力してよりよく地域活動をしてほしい」と話していました。



鹿嶋市国際交流協会の  
事例発表

方言スピーチの様子

活動事例  
発表団体

おがわ花の会(常陸大宮市)  
茨城町EMクラブ(茨城町)  
鹿嶋市国際交流協会(鹿嶋市)

## ネットワーカー活動推進大会

## 県南・県西ブロック

1月19日(土)

かすみがうら市千代田公民館

県南・県西ブロックの活動推進大会は、『見直そう！地域と自然のつながり』をテーマに開催され、約300名が参加しました。

基調講演では、NPO法人「宍塙の自然と歴史の会」理事長の及川ひろみ氏が里山での保護活動を紹介しました。市民が中心となり、年80回を超える観察会や稻作、草刈りといった数々の活動の話に参加者は耳を傾けました。

オープニングアトラクションにはあゆみ太鼓(かすみがうら市)の披露、その他活動団体の活動事例報告や発表団体との意見交換が行われ、今後の活動の参考を得ることが出来ました。

実行委員長の栗原氏は「基調講演や事例発表をおして、細かく研究し活動している団体、貴重な事に取り組んでいる団体の話が聞け、感心しました。“継続するのが大事”との話がありました。活動を続けていく上で大いに勇気づけられました」と話していました。



及川ひろみ氏の講演

活動事例  
発表団体

雪入山友の会(かすみがうら市)  
利根地固め唄保存会(利根町)  
クリーン古河の会(古河市)  
オオムラサキと森の文化の会(下妻市)

## エコライフフォーラム

県民一人ひとりが環境に対する理解を深め、家庭や地域、職場など様々な場面で環境に配慮して生活いただくよう「大好き いばらき エコライフフォーラム」が、県内12カ所で開催されました。このフォーラムは地域の地球温暖化防止活動推進員が企画することで、それぞれの会場で工夫を凝らした内容になりました。

北茨市の漁業資料館「よう・そろー」でのフォーラムには約70名が参加し、「楽しいエコライフを考える」をテーマに、講演会とワークショップを実施しました。全員参加型のワークショップでは、茨城県環境アドバイザーの小川達己氏を講師に招き、6つのグループに分かれ、「日常生活の中で環境のためにできること」を話し合いました。

企画した室橋博子さんは「仲間同士が励ましあって、それぞれにエコライフを実践するきっかけになってくれるとうれしい」と、力強く話してくれました。

参加者たちはユニークなリサイクル方法や、ゴミを減らす工夫などの意見を出し合い、身近にできるエコ活動の大切さを感じ取っていました。「みんなの頑張っている姿を見て(エコに)より関心を持つようになった」などの感想がきかれました。



ワークショップ会場の様子



熱心に講演を聴く参加者

# NPOとの協働

## NPO運営セミナー

平成19年12月から20年3月にかけて、中間支援NPO法人(茨城NPOセンター・コモンズ、NPOプラザ・ねこねっと、ひたちNPOセンター・with you)との共催で、NPO法人設立予定者や設立間もない法人、活動の発展を目指す法人を対象としたセミナーを、水戸・日立・つくばの3地区で開催しました。

基礎的な講座では、法人設立事務や会計・労務などをテーマにした講義が行われ、専門講座では、資金確保の方策や広報戦略、行政や企業との協働などをテーマにした講義やワークショップが行われました。

参加者は熱心に受講し、意見交換や人脉づくりを行っていました。



## 自治体職員のためのNPO研修会

2月19日(火)、茨城県三の丸庁舎において、県職員・市町村職員を対象に、NPO法人などの市民活動団体との協働について考えるための研修会を開催しました。

県で作成し、3月に発表する「NPOと行政 協働の手引き」の概要説明の後、実際にNPO法人と協働を行っている事例として、茨城県近代美術館、潮来市生涯学習課の担当者からの事例発表を行いました。また、自治体の憲法とも呼ばれる「自治基本条例」を県内でいち早く制定した小美玉市から、制定の経緯に関する発表をいただきました。

協働のまちづくりは、いま多くの自治体が取り組んでいるテーマです。市町村関係者の熱心さが特に印象的でした。



## 茨城NPOフォーラム2008

2月13日(水)、茨城県三の丸庁舎において、大好き いばらき 県民会議、NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ、(社)茨城県経営者協会、茨城新聞社の共催により、「茨城NPOフォーラム2008」を開催しました。

「仲間をみつける、地域とつながる」をテーマに、主に退職後の地域活動・社会活動を考える中高年世代の方に対してNPOの意義や魅力を知っていただくことを目的とし、当日は、NPO法人・企業・行政関係者ら約90名が参加しました。

基調講演では、「働く場」としての社会活動を考える」と題して、コミュニティケア活動支援センターの佐藤 修事務局長から、「人と人を『つなぐ』ことにより、みんなが主役となる地域社会を創っていく」ことの大切さについてお話をいただきました。

その後の分科会は、2つのテーマに分かれて行いました。「子どもを守り育てる」では、子育て支援、ひきこもり・ニート支援、子どもの見守り活動を行う団体の代表による発表が行われ、「地域活性化」では、都市農村交流、コミュニティバスの運行、団地内の買い物・生活支援活動に取り組むNPOからの発表が行われました。地域のため、そして自分たちのため、できることに自ら取り組んでいく姿勢に、参加者は刺激を受けるなど、今後の活動のヒントにつながる1日となりました。



## 大好き いばらき 県民運動活動紹介

### 霞ヶ浦環境科学センター 冬の祭典(フェスタ)

1月26日(土)

霞ヶ浦環境科学センターで開催された冬の祭典(フェスタ)に参加し、「大好き いばらき エコライフ運動キャンペーン」を実施しました。

1人ひとりが、地球環境に優しい生活(エコライフ)の実践を心がけるよう、「冬の暖房時の設定温度を22℃から20℃に2℃低くする」「風呂の残り湯を洗濯に使う」など、日常生活の中での取組みと削減量が書かれたチャレンジメニューを来場者へお渡しし、地球温暖化防止に向けた協力を呼び掛けました。

寒さの厳しい1日でしたが、約300人の方に「1人1日1kgのCO<sub>2</sub>削減」を目標とする、「私のチャレンジ宣言」に登録していただきました。



### 霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦

3月2日(日)

霞ヶ浦問題協議会、(財)茨城県企業公社、かすみがうら市と共に第69回霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦拠点地区事業を実施しました。

早朝から、地元住民など約400名が集合し、歩崎公園(かすみがうら市)周辺霞ヶ浦湖畔の清掃作業にあたりました。燃えるごみや、缶・瓶・たばこの吸い殻の他、石油缶やタイヤなどの粗大ごみがたくさんあり、霞ヶ浦・北浦の水質浄化について考えるよい機会となりました。



### 大好き いばらき ネットワーカー委嘱状交付式

3月19日(水)

大好き いばらき 県民会議の地域推進員「ネットワーカー」の委嘱状交付式が、水戸市民会館にて開催されました。今回の委嘱者数は、新規108名、再委嘱313名で、会長の橋本知事より、一人ひとりに委嘱状が手渡されました。「ネットワーカー」は、県民運動がさらに広がるよう、地域づくりの先頭に立って、「住みよい地域づくり」のために活動下さる方々です。今後の活躍に期待いたします。

# 第9回 大好き いばらき ふれあいまつり

～楽しさ満開！花咲く春の三の丸。～

茨城県三の丸庁舎を中心に、県民のみなさんの交流や地域の活性化を図るために、「大好き いばらき ふれあいまつり」を開催します。

当日は、多くの出店やアトラクション、楽しい催しがもりだくさんですので、ご家族・お友達をお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。



第8回のステージ  
(水戸工業高校ジャズバンド)

◆日 時：平成20年4月5日(土) 10:00～16:30 雨の場合には翌6日(日)

◆会 場：茨城県三の丸庁舎(旧県庁舎)広場とその周辺

◆内 容：○ステージイベント

「水戸市三の丸小学校吹奏楽部『いばらき物知りクイズ』」

「水戸工業高校ジャズバンド部(BLUE BEGINNERS)」ライブほか

○会場イベント

「商店街散策ふれあいスタンプラリー」「歴史探訪ふれあいウォーキング」

○同時開催イベント

「弘道館入館無料」「県立図書館イベント(ライブラリーシアター)」

ご存知ですか？

## 交流サルーンいばらき



交流サルーンいばらきは、NPOやボランティア団体、地域活動などの社会貢献活動を行う団体が、活動の幅を広げ、豊かな地域づくりを進めるための交流の場です。以下のような様々な設備を充実させお待ちしておりますので、活動時にぜひお役立てください。

### 印刷室(別室)

印刷機や紙折り機丁合機等があります(予約制、電話可)

### フリースペース

相談や打合せなど自由にお使い下さい

### 会議室・打ち合わせコーナー

予約は3ヶ月前から受け付けます(電話可)

### パソコン・インターネット

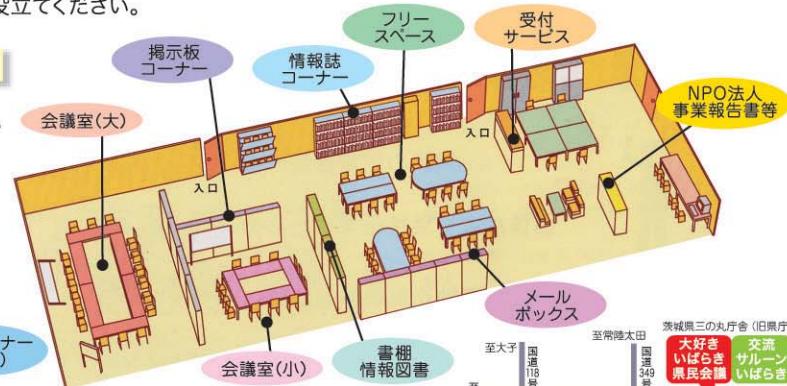
文書作成や情報検索が無料で利用いただけます

### メールボックス

情報を発信したり、受け取ったり、他の団体の皆さんと情報交換ができます

### 情報誌・掲示板コーナー

ボランティア団体や助成団体に関する情報・県や市町村の広報誌・行政資料・NPO法人等に関する図書・資料の閲覧ができます



皆さんの市民活動のために  
無料でご利用いただける  
さまざまな機器を備えています。

### 利用時間

平 日／10:00～20:00  
土日・祝祭日／10:00～17:00  
休館日／火曜日・年末年始

### 場 所

茨城県三の丸庁舎2階 大好き いばらき 県民会議となり

### お問合せ先

TEL／029-302-2160(サルーン直通) FAX／029-233-0030



## INFORMATION

### 新規組織会員紹介

□有限会社 東京総合染色(水戸市)

□高木染工場(常陸太田市) 新たに会員登録されました。

### 新規会員募集中！

大好き いばらき 県民運動とは、団体・企業・県民・行政が連携し、私たちの身の回りにあるさまざまな問題に目を向け、「やさしさとふれあいのある茨城づくり」を推進する運動です。

大好き いばらき 県民会議ではこの趣旨に賛同し、運動に参加していただける組織会員・個人会員を募集しています。

組織会員／年会費…10,000円

個人会員／年会費…2,000円 (個人会員は賛助会員です。総会での議決権はありません)

入会申込は大好き いばらき 県民会議のホームページからも受付ております。

### 投稿記事を募集しています！

みなさんの活動をPRしてみませんか？大好き いばらき 県民会議では、皆さまからの投稿記事を募集しています。

豊かな地域づくりを推進するために、地域で活発に展開されている活動をホームページや広報誌で紹介しています。

ぜひ投稿してください。

詳しくは、ホームページまたはお電話で！



**大好き いばらき 県民会議**

〒310-0011 水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎2F

**TEL 029-224-8120 FAX 029-233-0030**

URL <http://business2.plala.or.jp/daisuki/>

E-mail [daisuki@atlas.plala.or.jp](mailto:daisuki@atlas.plala.or.jp)



グリーンマーク  
自然環境保護のため  
再生紙を使用しています。



大豆油インキ  
廃棄性VOCの発生がない  
大豆油インキを使用しています。